

障害のある中高生

舞鶴市が「タイムケア事業」

放課後も 有意義に

舞鶴市は一日から障害のある市内の中学、高校生を対象に、放課後や長期休暇中の居場所確保を目指した「中高生タイムケア事業」を府立舞鶴養護学校（同市堀）で始めた。これまで小学生以下には同様の事業があったが、中高生対象の同事業は府内でも初めて。

居場所確保サポート

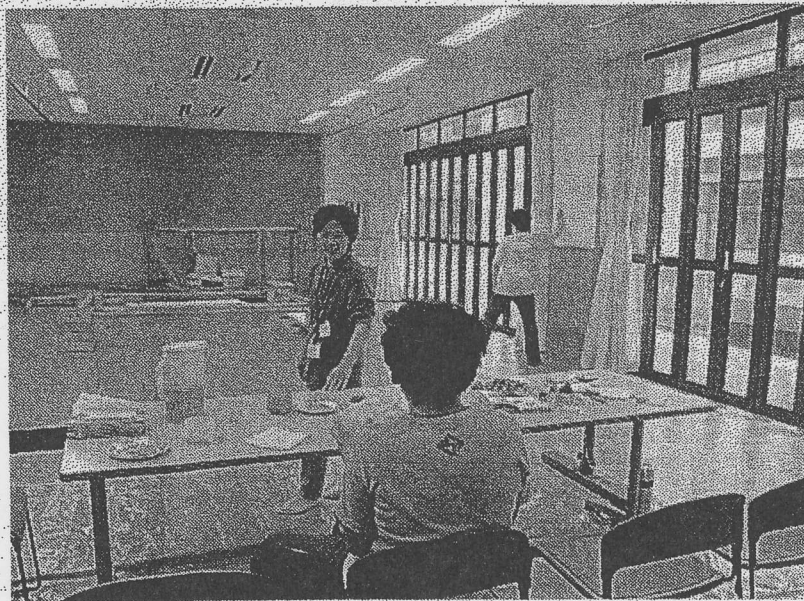
現在、福祉サービス利用料の一部を市町村が負担する障害者支援費制度では、放課後などを過ごすデイサービスは小学生と幼児が対象で、障害のある中高生へのケアが課題になっていた。

舞鶴市では昨年度まで、障害のある多くの子どもが府立与謝の海養護学校（岩滝町）に通っていたが、今年四月に舞鶴養護学校が開校。通学時間が短縮された半面、共働きの親を持つ子どもを中心に、放課後を過ごす場がより必要になり、市がこの事業を始めた。

対象は、舞鶴養護学校や市内各中学の障害児学級で学ぶ計約百四十人。初日は放課後に生徒九人が集合。同養護学校のプレイルームや体育館で、事業を委託された社会福祉法人「みずなぎ学園」のスタッフと、折り紙やボールで遊ぶなど、リラックスタイムを過ごした。

責任者の田向康二さん（三九）は「子どもが楽しみに来てくれるように、サポートしていきたい」と話していた。

利用料は一回原則千円で、希望者は市児童・障害福祉課に一月単位で申し込む。事業費は六百万円。



中高生タイムケア事業でリラックスして過ごす生徒たち（舞鶴市堀・府立舞鶴養護学校）

劇や講演通し人権への思い新た

部落解放研府集會に1000



部落解放研究第十九回（西五ノ東山区）京都府集會が一日、京都府左京区の京都會館で開かれた。府内各地から千人あまりが参加、進行性筋ジストロフィー症の長男と歩む川田久美子さん（京都商工会議所PTA協議会）

宮安定化計画を発表した。加入者の高齢化などで慢性的な赤字が続いていることをふまえ、保険料徴収率の向上や、医療費抑制のための健康づくりに積極的に取り組む、

人権への意識を新たにしたら京都府（京都市左京区・京都）

に向けて毎年計画を策定してはいる。計画では保険率（二〇〇％）を向上させ、現在は半分程度にしている銀行

市制記念日に表彰

市功労者、新たに4人

市では、市制記念日の5月27日、舞鶴市功労者条例に基づき、市の発展に貢献された次の4人を市功労者として表彰しました。

これで、市功労者は、83人になりました。

▽川井彰さん（74歳、和田）固定資産評価審査委員会委員（平成4年12月26日、現在）

▽櫻井義昭さん（72歳、中

田町）監査委員（平成5年1月20日、17年3月31日）

▽布川和子さん（55歳、余部下）狩野永納筆の屏風など3,619点を寄付（本人の希望により写真を掲載していません）

▽室一雄さん（67歳、丸山中町）収入役（平成5年4月1日、14年3月31日）、助役（平成14年4月1日、17年3月31日）



川井彰さん



櫻井義昭さん



室一雄さん

青少年

日ごろの善行をたたえる「青少年善行表彰式」を5月27日に開催しました。青少年の健全育成を目的に、毎年実施しているもので、今年で21回目。今回は、次の5団体と4個人を表彰しました。

【青井小学校児童会】5年前から夏季を中心に校区の海岸などを清掃。また、花苗



タイムケア事業をスタート

障害のある中高生に活動の場を

6月1日から、養護学校で

市では、養護学校などに通う障害のある中高生が、放課後に活動できる場を提供するため「中高生タイムケア事業」を6月1日から開始します。

社会福祉法人みずなぎ学園に委託して実施するもの。内容などは次のとおり。

◆対象者 市内在住の障害のある中高生

◆場所 府立舞鶴養護学校（堀）

◆内容 同校プレイルームや体育館で日常生活の

訓練など。

◆時間 ▽放課後：午後5時30分まで ▽長期休暇期間：午後1時30分～5時30分

◆定員 1日あたり10人程度

◆利用料 1回1,000円（ただし、生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は500円）

◆送迎 必要に応じて実施。

◆申し込みと問い合わせ 先 市役所児童・障害福祉課（☎66・1033）

市では、高齢者保健福祉計画に、市民の皆さんの意見を反映していくため、「まいづる長寿社会プラン推進会議」の公募委員を募集します。

同会議は、市民団体の代表者と公募市民で構成。高齢者保健福祉計画や介護保険制度の事業計画の見直しと進行管理のほか、保健・医療などの福祉施策について市長の諮問に応じ調査・審議し

ます。応募方法などは次のとおりです。

まいづる
長寿社会プラン
推進会議

公募委員
市の福祉

◆対象 20歳以上の市民で、高齢者保健福祉・介護保険制度に関心があり、会議に

留学生ら地元の生活や

に、ごみの正しい分別法など日本の生活への知識を身に付けてもらうとともに、名所や文化施設をめぐり、町を知ってもらうねらい。京都創成大と京都



短期人は「エ

留学生たちに心地よく暮らしてもらおうと、福知山市は6日、「ふくちやま探訪と生活講座」を同市牧の市リサイクルプラザなどで開いた。市内の大学に留学する外国人を対象

台風23号の置き土産

舞鶴の授産施設、園生ら販売



台風23号の流木で作られたいすを眺める買い物客 (舞鶴市北田辺の「ビバ」)

丁寧な仕上げ 鉢置きお勧め

舞鶴市丸田に四月に新設された知的障害者通所授産施設「みずなぎ丸田学園」(植田泰正施設長)の園生たちがこのほど、法人「みずなぎ学園」の「販売店「ビバ」(同市北田辺)の店頭」に並べられ、買い物をした注目を集

带状に肥大した(京丹後市久美)



赤い花が咲いたように見えるサザンカの葉 (京丹後市峰山町荒山)

流木でいす作り

川)で、白糸、青葉、毎年恒例の活動で、各面中学の生徒と、倉梯、倉梯第二、三笠、与保呂の各小学校の児童合わせ七百八十人以上が清掃を行い、「ふるさとの川を美しくしよう」と汗を

りて、ガーデンングの植木鉢置きなどにも最適で

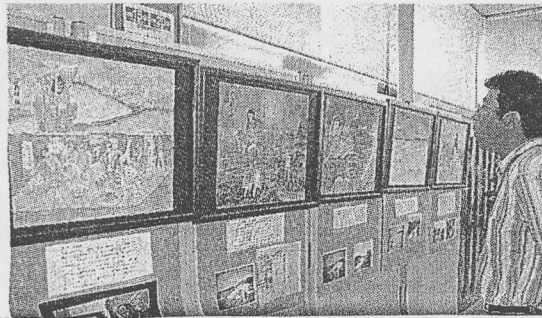
す」と勧める。植田施設長(五三)は「いろんな形の木があり、おもしろいものが作れそう。次の作品づくりを始めており、完成したものを順次追加していきたい」と話している。

て染め

水彩の素朴な味わい表現

丹後地方を舞台にした創作民話「宮津の琴の音」を描いた絵物語展が六日、京丹後市網野町の京都北都信用金庫網野支店ロビーで始まった。水彩ペンで彩られた素朴な味わいの作品が、来店者の目を惹きつけている。

めている。丸田学園では、園生たちがパンの製造などを行っているが、台風23号で「(同市の)神崎海水浴場に大量の流木が打ち上げられている」と聞き、木工品作りに取り組むことにした。四月中ごろ、植田施設長と園生四人が流木を拾いに行き、製作を開始。木を組み合わせて丁寧に磨き、バーナーで焼いて色合いをつけ、二人から三人座れるいす二脚を完成させた。今月初め、中央商店街にある「ビバ」の店頭で一脚五千円から販売を始めたところ、通りがかりの人が眺めたり、作り方を聞くなど反響は大きいという。ポランティアスタッフの加賀本須美子さん(三三)は「木の形を生かした味わいのある仕上げ



物語は、海賊の三庄太夫に捕らえられた姫様